

医療法人 明倫会 本山リハビリテーション病院 (神戸市東灘区)



エコ・アイス



ヒートポンプ給湯

贈呈理由

病院新築にあたり、省エネを実現するエコ・アイスと業務用ヒートポンプ給湯器の導入



医療法人明倫会 本山リハビリテーション病院

本山リハビリテーション病院は2013年7月に開院し、回復期リハビリテーション病棟80床および維持期リハビリテーション(障害者、一般)病床40床の病院である。

リハビリを必要とする患者様にre-born生まれ変わり、障害を乗り越えその人らしく生きていただくためのリハビリテーション専門病院である。

全室個室によるプライバシーの尊重や

在宅環境を考慮した生活リハビリが実践できる仕掛けがあり、「アートのある病院」としておしゃれで女性にアピールするデザインと機能になっている。

新病院の建設にあたっては「災害に強い」「省エネ」を重視した設計とし、阪神大震災時に早期復旧した電気熱源であるオール電化を採用した。

給湯ヒートポンプと蓄熱式空調システムを中心とした高効率システムを導入したことで、割安な夜間電力が利用でき、さらに昼間のピーク電力を低減し最大デマンドの抑制によってランニングコストを抑えることができている。

職員からは「エコキュートは運転管理が容易であり、メンテナンスが不要だし火災の心配も無い」と評価されている。

同病院は、地域の方々や職員をはじめ

病院を訪れるすべてのの方に日々re-born、進化した自分を見つけていただくことを目指している。



氷蓄熱ユニット



業務用エコキュート

医療法人明倫会 本山リハビリテーション病院

所在地:神戸市東灘区本山南町7-7-15
 建築設計:株式会社建築設計事務所
 建築施工:株式会社大林組
 蓄熱設備設計:株式会社設備工学研究所
 蓄熱設備施工:新菱冷熱工業株式会社
 延床面積:6,094.03㎡
 竣工:2013年(新設)

■蓄熱設備概要
 エコ・アイス(個別分散) 10馬力相当×1台(ダイキン工業)
 蓄熱槽:1.22㎡
 業務用エコキュート 160kW×1台(昭和鉄工)
 貯湯槽:12㎡